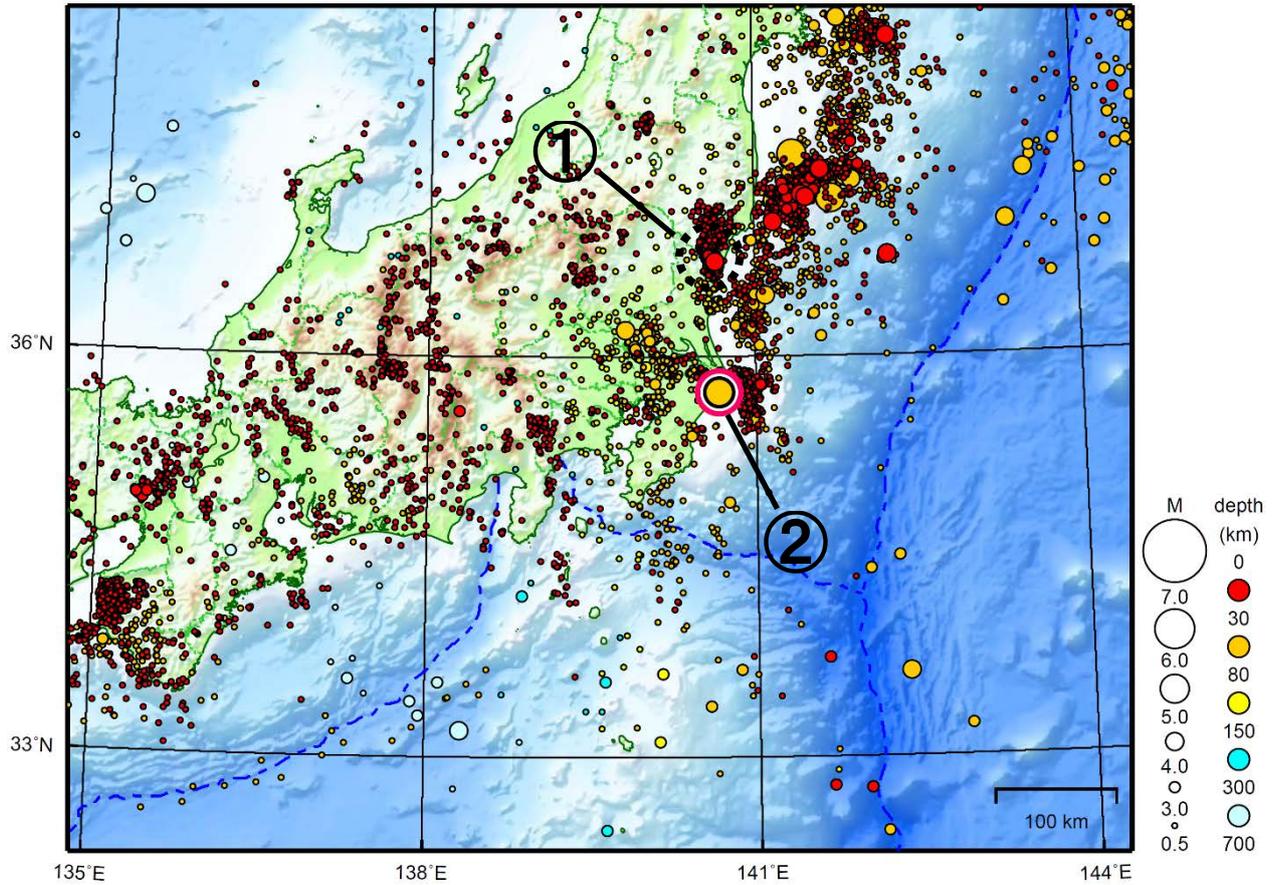


関東・中部地方

2017/02/01 00:00 ~ 2017/02/28 24:00

N=9030



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 茨城県北部では今期間に最大震度4以上を観測する地震は発生しなかった。
- ② 2月19日に千葉県北東部でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

情報発表に用いた震央地名は[千葉県東方沖]である。

(上記期間外)

3月5日に千葉県北東部でM4.7の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

2016年12月28日からの茨城県北部の地震活動

2017年2月中の最大規模の地震は、2月7日20時03分に発生したM4.4の地震（最大震度3、深さ6km）であった。茨城県北部の地震活動でM4.0を超える地震を観測したのは、2016年12月28日21時48分のM6.3の地震（最大震度6弱、深さ11km）発生直後の21時53分に発生したM4.7の地震（最大震度4、深さ6km）以来であった。2月7日の地震は、2016年12月28日21時53分の地震とほぼ同じ場所で発生した。また、2月中に震度1以上を観測した地震は16回（最大震度3：1回、最大震度2：7回、最大震度1：8回）発生した。

2016年12月28日からの茨城県北部の地震活動は減衰しつつも、北北西-南南東方向に延びる長さ約15kmの領域で継続している。

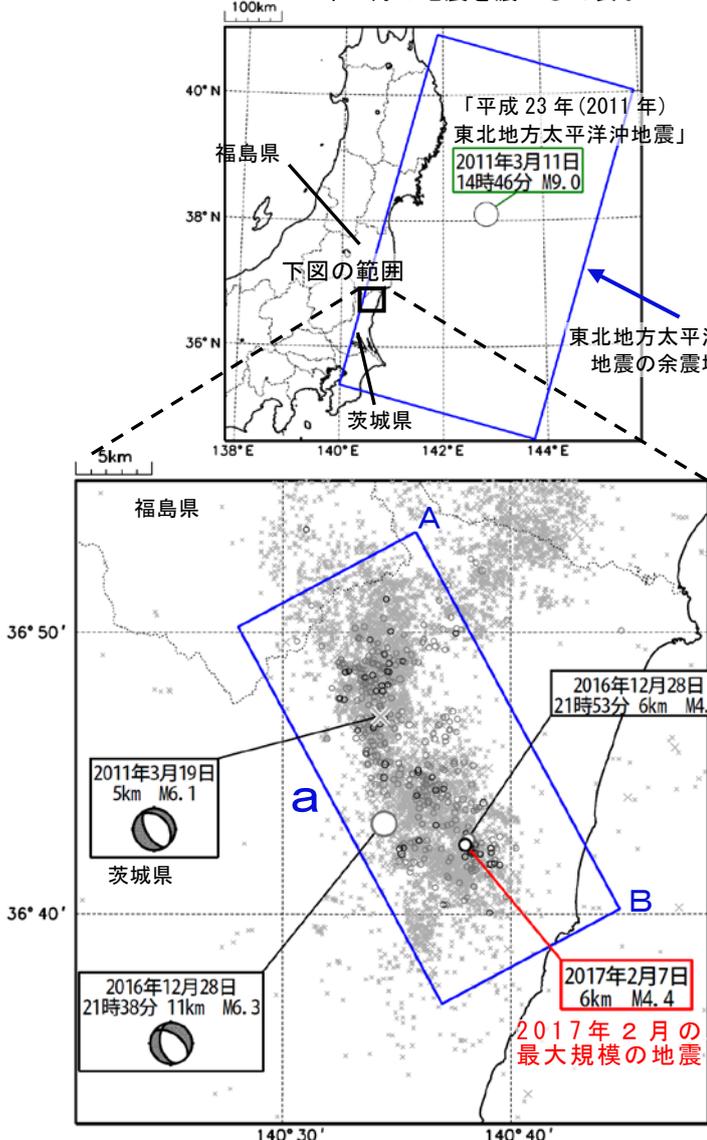
震央分布図

(2011年3月1日~2017年2月28日、深さ0~20km、 $M \geq 2.0$)

2016年12月27日までの地震を薄い×で表示

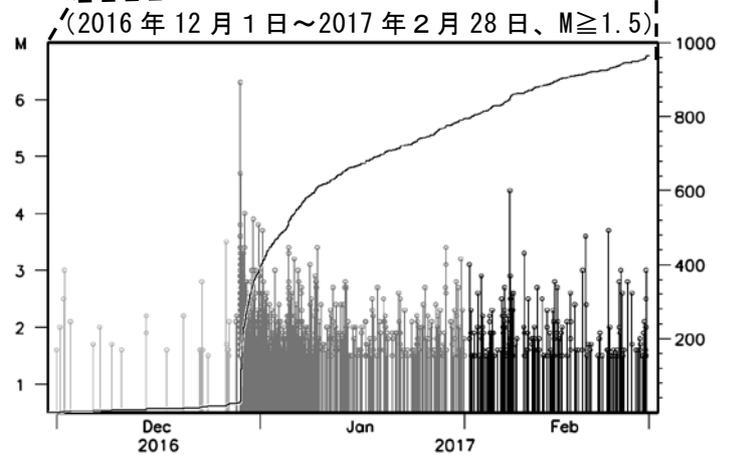
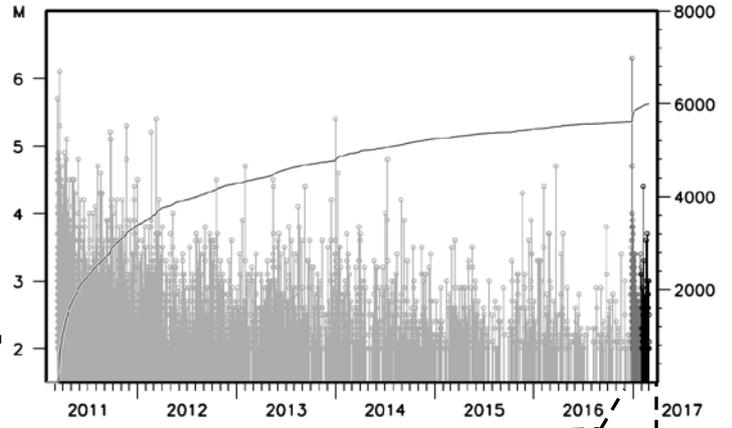
2016年12月28日から2017年1月31日の地震を薄い○で表示

2017年2月の地震を濃い○で表示

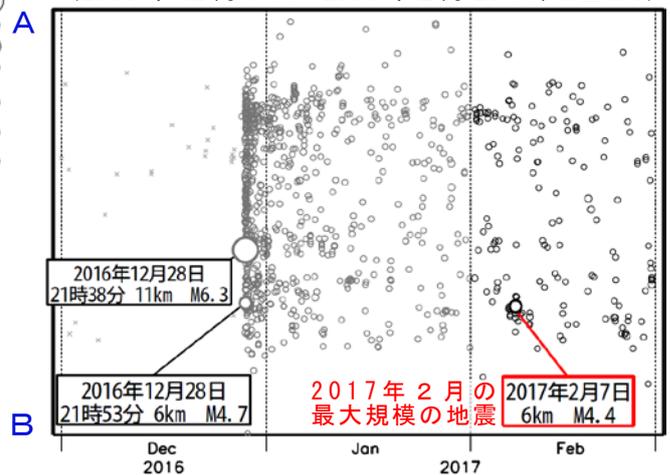


※2016年12月28日以降は未処理のデータがある。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内の時空間分布図 (A-B投影) (2016年12月1日~2017年2月28日、 $M \geq 1.5$)



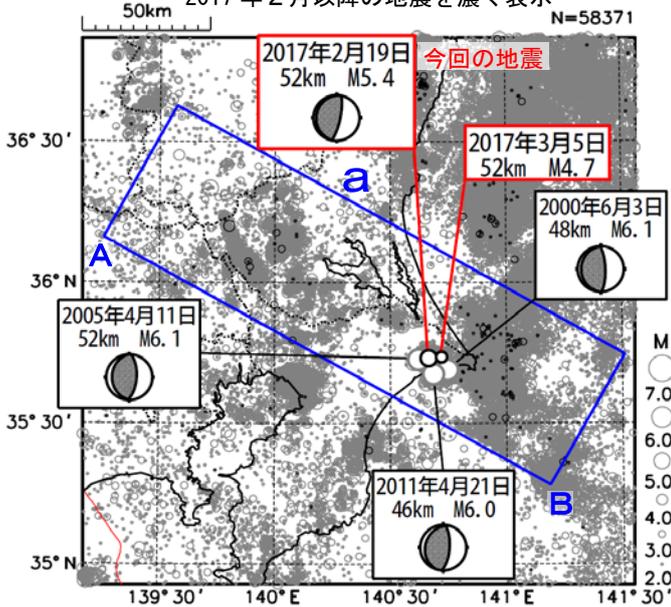
2月19日 千葉県北東部の地震

情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

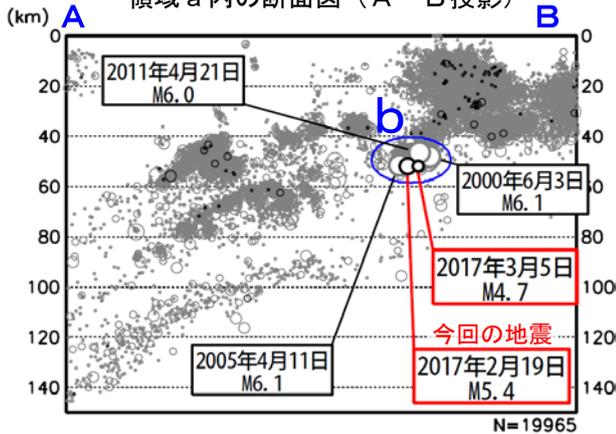
震央分布図

(1997年10月1日～2017年3月5日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2017年2月以降の地震を濃く表示

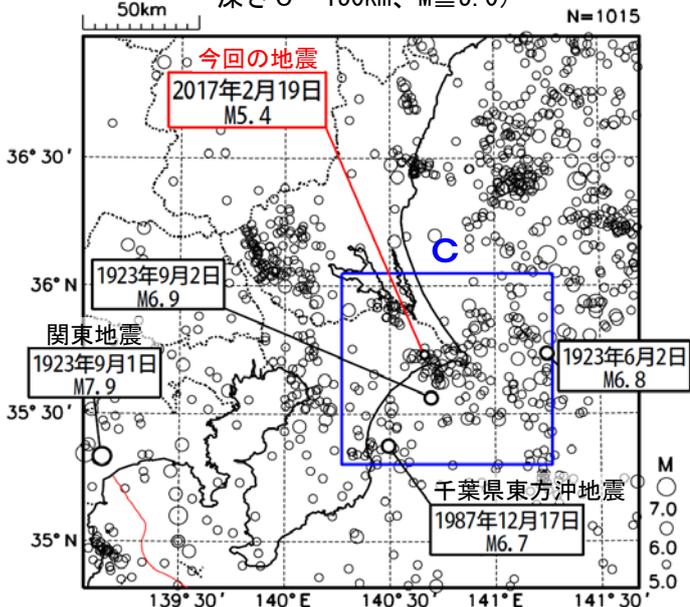


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

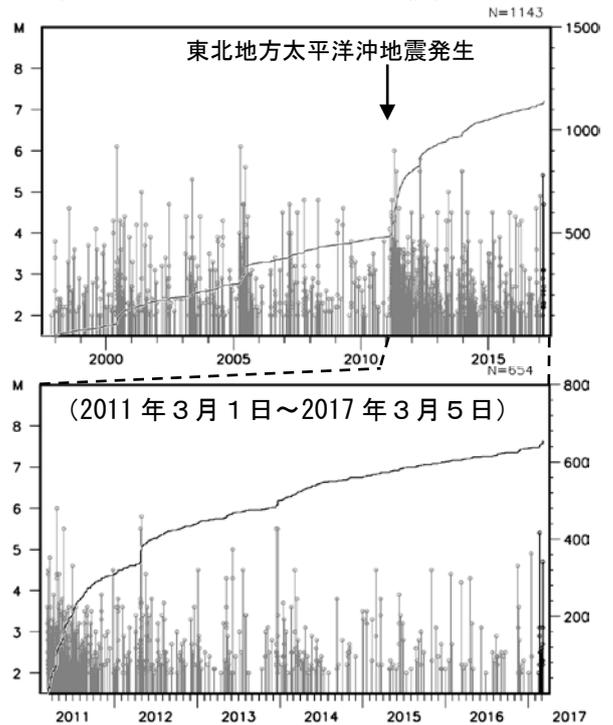
(1923年1月1日～2017年3月5日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)



2017年2月19日18時19分に千葉県北東部の深さ52kmでM5.4の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。なお、期間外の2017年3月5日10時18分にはほぼ同じ場所でM4.7の地震 (最大震度3) が発生している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M6程度の地震が時々発生している。「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発になっている。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0程度の地震が時々発生している。1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震 (M6.7、最大震度5) では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

